

●障害者支援施設ウインドヒル 〒761-0450 香川県高松市三谷町3851番地 TEL 050(3734)6707 FAX 087(888)4278
●グループホーム風見の家 〒761-0450 香川県高松市三谷町3890番地1 TEL・FAX 087(888)2557

•発行／社会福祉法人ポム・ド・パン
•発行日／2015年5月31日

4月10日 新作業棟が完成しました!!



4月10日 前回号でお知らせしておりました新作業棟の工事が終了し、無事に竣工いたしました。

次ページで室内のご紹介もさせて頂いておりますが、壁の色を「赤」と「青」の2色にしています。これは利用者に集まつてもらう時や作業資材を運んでもらう時など、利用者に分かりやすくするためです。自閉症の人たちは「右」や「左」、「あっち」や「こっち」というような曖昧な表現の理解が苦手です。「赤」と「青」の色で視覚的にも分かりやすく、また「色の概念」とマッチングできるようにという意味も込めています。

開所してから11年目となり、今まで利用者が作成してきた作品などもかなりの量になってきており、それらを保管しておく収納スペースも確保いたしました。

工事中に「あれは何ができるのかな?」と利用者に尋ねると「作業棟!!」と答えが返ってきて新作業棟の事を気にしている様子が見られました。屋外作業班の拠点となり、今後ますます充実した作業活動ができるよう支援していきたいと思います。

＜新作業棟の概要＞ 鉄骨造 平屋建て 延べ床面積 198.65m²

支援員 竹内 俊介

「ポム・ド・パン」とはフランス語で松ぼっくりという意味です。「ウインドヒル」の建つ丘には、時折、松ぼっくりが転がっています。松ぼっくりは、松の木の生命である種子が住んでいるお家です。ここで種子が大切に育まれ、また、次の命を生み出していくます。一年中緑の葉をつけ、砂地でも荒地でもしっかりと根をはり、大きく枝を広げている松。その生命をしっかりと包み込んでいる松ぼっくり。「社会福祉法人ポム・ド・パン」も強く・たくましく・大きく、そして、小さな一つひとつの生命を育む暖かな場所なのです。

新作業棟の紹介

作業室



収納倉庫



利用者に分かりやすくする為に、壁の色を赤と青の2色にしました。

プラットホーム



作業資材の搬入・搬出をしやすくする為のプラットホーム。トラックの荷物を出し入れするのに便利です。



作業の完成品を保管する倉庫です。

はちろうくん

操作しているところ



エコポット（植木鉢）



はちろうくんで作成した植木鉢は、古紙（コピー用紙等のシュレッダーゴミ）を水に溶かしただけの材料を使用し、接着剤を一切使用しないで成型する事ができるので環境にとてもやさしい植木鉢です。染料を使用すると着色する事も出来るので、オリジナル植木鉢を作る事も出来ます。

写真は利用者が実際にはちろうくんを操作しているところです。

機械の操作方法は簡単ですので利用者も職員が横について支援すれば出来る作業です。

現在、県庁、障害福祉課の
シュレッダーゴミを月2回回収に
行き、活用させて頂いています。
ご協力ありがとうございます。

原木しいたけ菌の植付け作業

3月27日



菌の植付け



原木運び

三月桜のつぼみも膨らむ頃、ウインドヒル屋外班は椎茸の菌の植付け作業をしました。

まず、裏山からクヌギの木をいつもお世話になっている山田さんに切ってもらい、それを利用者・職員で運びました。細い木は利用者一人一人が運びだして、太い木(一番重い木は30kg~40kgかな)は職員でもなかなか持上げることが出来ず山から転がしながら敷地まで出してリヤカーに積んで穴あけ作業場まで持ってきてました。利用者・職員汗をたっぷりとかき運びだし終了。それから一本一本ドリルで穴あけをし椎茸の菌を一つ一つ入れて行きました。総数4万個を5日間かけて入れ込みました。この原木に椎茸がたくさん出来るのは来年の秋です。それまで原木をゆっくりと寝かし美味しい椎茸がたくさんできるように利用者と祈りながら作業を終了しました。屋外班・職員、お疲れ様でした。

支援員 松尾 能之



障害者支援施設「ウインドヒル」の視察研修メッセージ

濱口 智司

ウインドヒルを見学させていただき、まず初めて感じたことは、とても良い立地環境にあるということでした。街からそう遠くないにもかかわらず、とても静かなので、利用者の方々も集中して作業もでき、落ち着いて生活ができるのだと思いました。また、ボム・ド・パンの「障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。」という理念に、とても感銘を受けました。18歳までという子供達の成長においてとても大切な時期に関わる寄宿舎指導員として、寄宿舎を卒業した子供達が誰からも愛される人に成長していくように、今後の指導、支援をしていきたいです。

佐々木実里

今回、初めてウインドヒルに訪問させていただいた、まことに環境の良さに驚きました。その環境が、ウォーキング等の健康保持・肥満防止にもなっていることを知り、素晴らしい環境と取り組みだと思いました。お話を伺い、座って待つことの大切さや、社会に出るまでに、人に嫌われない人格に育てることが大事といったことを聞くことができ、新しい学びがありました。一番心に残ったことは、松原先生のお話でした。障害のある子供を安心して預けることのできる施設を作りたい。という、ご自分の体験からの、また施設の方・親という両方の立場である方の話を聞くことが出来たことは、貴重な体験になりました。施設見学では、個人の部屋を見せてもらうことができ、細やかな配慮に驚きました。寄宿舎でも取り入れ、支援に繋げて行きたいと思いました。

安岡和歌子

重度の自閉症の施設というと、暗いイメージですが、ウインドヒルは明るくてきれいな施設でした。利用者の方が、それぞれの作業に集中している様子、9人の生活空間、落ち着いて過ごせる環境への配慮、支援方法など、参考にさせていただきたいです。

渡辺 均

校外より少し離れた小高い丘にある施設で、自閉症の利用者にとって、静かで良い環境だと感じました。自分たちが見学した時間帯は、昼食後の作業から終了まででしたが、利用者の障害に応じた作業内容や日課を過ごし、のんびりした雰囲気で出来ることをしている、誰かの役に立っているという指導、訓練をしており感銘受けました。施設の特徴にある「職住分離の生活リズム」、一日の生活を区切って作業場と暮らしの場を分ける。同様に作業服、体操服、私服と着替えるようにし、生活にめりはりを付ける工夫をしているのを知り、学校生活でも制服、体操服、作業服、私服と着替えて気持ちを入れ替えることが大切だと感じました。入所時に座っていることが出来なかつた利用者も練習することによって出来るようになり、作業を出来るようになる。根気強く支援する大切さ、18歳までに人に嫌われないようになることが大切という話を聞き、卒業するまでに出来ることを増やし、確実に身につけるように支援していくことの大切さを感じ、これからも寄宿舎運営に役立てたいと思いました。

中司 朱美

敷地が広く、生活と作業の場所の明確な分離により、利用者さんが生活をしやすい環境であると感じました。支援の際に利用者さんに負けたふりをするなどの演出を工夫されたり、コツコツと少しずつ伝える積み重ねの支援、一貫性をもった支援の必要性、職員さんと利用者さんとの見えない距離を大切にして支援をされているというお話を感銘を受けました。地域交流棟では、地域の人や、スポーツ指導員等いろいろな職員と関わることで、たくさんの経験を通してコミュニケーションの幅も広がると感じました。生活棟も皆が個室で、収納棚もたくさんあり、誰が見ても分かるように構造化されていたことに驚きました。寄宿舎でも参考にさせていただき、これからも支援に活かしたいと思います。

自閉症の障害を持つ生徒さんの生活を支援されています。特に、朝、夕の関わりについて熱心に研修されました。

高知県立山田養護学校寄宿舎より5名見学されました。

地域とのつながり

「災害時における要援護者(障がい者)の受け入れ等に関する協定書」の締結について



平成27年4月1日高松市と社会福祉法人 ポム・ド・パンは、
災害が発生し又はそのおそれがある場合において

在宅での生活が困難となった障がい者
又、それが見込まれる障がい者
及び緊急に避難を要する障がい者を

社会福祉法人 ポム・ド・パンの障害者支援施設で受入れをして、協力することを協定しました。

高松市と法人は、お互いに、

[ボランティア等の派遣協力] [在宅復帰への支援協力] [平時からの連絡体制] 等
その他、必要に応じて協議し連携を講じることを共通理解しました。

あってはならない災害ですが、「備えあれば憂いなし」不測の事態に備えて、障がい者の生活環境を整えるべき方策を整備いたしました。



管理者 松原 正子

ウインドヒル・風見の家日中行事・日中活動

お茶会

3月3日



3月3日 お茶会行事に参加しました。

今回はひなまつりの日に合わせて開催だったので、おひなさまを飾りました。

お茶の講師は、昨年に引き続き、高井さん、中本さん、開出さんにお願いしました。

赤いじゅうたんに正座して、和のBGMを流しながら、和菓子、お抹茶をいただきました。普段の雰囲気とは異なる場面に来たせいか、座るまで、にぎやかだった利用者も、座って待っている間に静かに待つという事ができていました。

昨年と比べても全体的に落ち着いた雰囲気で参加でき、利用者の成長を見れた気がします。

行事後、各ユニットに帰ってから、「お抹茶とお菓子おいしかった」と利用者の笑顔が見られたことが印象的でした。

支援員 鍋谷 明子



水仙ロード

3月25日

ウインドヒルの皆さんと、リフレッシュ体操クラブのおばさんたちとの行事交流も数年ぐらいになるでしょうか。すっかり顔馴染みになって、毎年私たちもこの日を楽しみにしています。天気にも恵まれ、手をつなぎたりおしゃべりしながら、水仙ロードを歩きました。しだれ桜はまだ3分咲きぐらいだったけど、花の下でその日その時だけの記念写真も撮りました。つくしはチラホラしか見当たりませんでしたね。またきっと来年も……ね。

佐々木 美知代



今年で水仙ロード散策行事も5年目となりました。

三谷コミュニティセンターへ訪問し、小野川先生、三谷町リフレッシュクラブの方々と親交が始まりました。毎年、初回から振り返り、思い出話に花が咲きます。

同じコースを歩いても、色々な話が思い出されるのは、リフレッシュクラブの皆さんを利用者に丁寧に関わってくれている様子、時々羽目を外す利用者等、毎回なにかしらの思い出が残っているからだと思います。

私にとって、水仙ロードは一年(年度)の締めになっている行事です。支援員 和田真由美

世界自閉症啓発デーパレードに参加して

「ブルーは?」シンボルカラーです。《癒しのカラー》《希望》を表しています。
青色の明かりで照らし、暮らしやすい社会の実現を呼びかけます。



毎年4月2日は国連の定めた世界自閉症啓発デー

「知って下さい!自閉症のこと、発達障害のこと!」

と書かれた横断幕を持って、平成27年4月2日(木)に県庁を出発し、高松市街地のアーケード街を通り、市役所までの間のパレードを行いました。今回は自閉症啓発デーのシンボルカラーである「ブルー」のジャンバーを着てアピール!パンフレットやチラシを配りました。

また夕方には、高松駅の構内で啓発活動を行いました。

県庁ギャラリーでは、2週間ほどの間、利用者の日頃の作品や自閉症についての紹介文等のパネルを展示し自閉症についての理解を深めてもらえるように努めました。

今回この企画に参加させて頂き、まだまだ世間では自閉症について十分に理解されていないと感じました。それと同時に日々自閉症の方と関わる仕事をしている私達が、自閉症の方の事をもっと知りたい、自閉症の方がより良く生活していく社会に少しでも近づけるように努力していきたいと思いました。支援員 鎌田 泰明

社会福祉法人ボム・ド・パン後援会会員

(敬称略・順不同)

◆個人会員 平成27年度 平成27年4月1日～平成27年4月28日

松岡 正博	藤沢由美子	山本 斐	保本ふさ枝	幸田加津子	河北 豊	徳永 国広	三好美千代
大宅 秀美	三好 悅子	松原 廣	松原 正子	鎌田 泰明	安田 美佳	寒川 妙子	松原 健太
村川 文生	安倍 晶子	掘 仁美	金川 謙二	金川 恵子	金川 大介	岡 康弘	小山 敦弘
黒嶋 正子	石丸 和孝	美浦 称一	村尾スミ子	安西 秀雄	猪塚 正章	猪塚 和子	石本 寛嗣
安藤 敏典	村山 昌	高山 照子	今瀧 知子	大西利喜子	石元 信子	淵崎 輝一	東川 里美
中野 博子	後藤見知子	磯部 康子	深井 一恵	浅岡加寿子	藤田 和代	高木 春美	山本 哲
重利 久代	藤岡 剛	松原 騒	松原 條一	藤本 正	遠藤 定則	和泉久美子	豊島 純子
安部 友紀	青井 美彦	児玉 康子	真鍋 静子	鈴木 克幸	鈴木 裕子	鈴木幸太朗	鈴木祐太朗
和田 則昭	和田真由美	和田 龍兵	山本 信二	瀬谷 之人	小西 朋子	増田 泰子	松木知恵子
三好喜久子	愛川 幸子	中野真貴子	坂本 厚子	石井 寛	島山 進	島山 一夫	伊豆野美代子
松川 愛子	藤田 容三	藤田美代子	藤田 洋志	岩部 雅人	吉田 竜平	三谷 善則	三木 隆文
三木 スミ	築山 浩二	大門 豪	秋山 智	田中 輝明	藤田 共子	黒田 寛子	堀田 国彦
山本 勝博	梶原由紀子	山本 和市	横井 和子	横井 孝司	塩本 洋子	荻野 正巳	新名 義隆
新名 義弘	小山美千代	小山 裕介	小山 洋介	竹野内政子	東條 真希	宮武 宏	宮武 孝宏
杉崎 行春	川井 浩三	松下 綾子	松下 学	近藤 勝	安藤 利政	近藤 文男	近藤 豊子
西山 香織	田岡 博雄	谷川 博彌	谷川 桂子	谷川 聰	田岡 晃平	鈴木 幸市	松下 静江
真鍋 幸恵	遠藤 能成	土居 一郎	土居 康子	土居 良助	土居 晶子	前田 浩子	北條美代子
白川 勉	池内 恭子	堤 康	安原 真理	安原 依子	宮崎 成	鶴見 翼	山下真理子
宮崎 昭子	佐光 昭二	元木 康之	宮宇地 峻	朝日 光頭	朝日 由紀	高木美枝子	宮崎 歩
桑田 尚悦	大熊 弘子	土手添レイ子	白井 麻美	松田 仁美	片桐 泉	片桐 正晶	後藤 博幸
後藤加代子	真鍋 康徳	三木 隆司	計野浩一郎	吉村繁三郎	共同 ガス	大西 規子	木内 茂巳
高橋由佐子	福岡 正浩	伊賀 宏文					

◆団体会員 平成27年度 平成27年4月1日～平成27年4月28日

大成段ボール株	ツツミ医院	株一陽パック	南晴天	南久間薬局	南高島産業	株トミタ	株たまも
株合田工務店	有香南鉄筋	株生コン輸送	株百十四銀行空港口支店		アカマツ株高松営業所		
自由民主党香川県第一選挙区支部	株ミネック	株遠藤米穀酒店	アイ・プロジェクト				

平成27年4月28日現在、以上の方々に継続及び新規ご入会頂きました。4月29日以降にご入会の方々のお名前は次回の会報に掲載させて頂きます。

社会福祉法人ボム・ド・パン後援会のご案内

社会福祉法人ボム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」とグループホーム「風見の家」をサポートしています。

今後長期にわたり、利用者一人ひとりを大切にした理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくには、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき、「社会福祉法人ボム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

年会費 個人会員 一口 3,000円 団体会員 一口 10,000円

ご入金方法 郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ボム・ド・パン後援会

本当にありがとうございました。

～ウインドヒルのささやかなボランティア活動～

捨ててしまえばただのゴミ。集めることで誰にでもできる身近な国際協力活動に。

皆さまの周りの職場・学校・ご家庭・グループなどで呼びかけ、ご協力いただけると幸いです。

①『タンザニア・ポレポレクラブ
(<http://polepoleclub.jp/>)』へ送付

◆東アフリカのタンザニアで村人とともに植林活動に取り組んでいる市民グループ◆

②コレクターに買ってもらい、
資金化



③世界遺産に登録されている
キリマンジャロ山での植林活動資金に。

(使用済み切手 40g=1本の木)

使用済み切手回収にご協力ください!!



～暖かなお気持ち～

赤い羽根 共同募金かがわ様より



ソフトロールクリーナー



フットマッサージャー



カラオケセット



シューズ BOX

保護者会より



テレビ

ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いします。

保護者会コーナー

「精神的自立について」

波の静かな海、青く澄み切った美しく広がる志度湾を眼下に、そして左には五剣山が見える風光明媚な高台に三光病院がありました。息子は、問題行動と薬の調整を治療目的として、入院した最初は、かなり興奮していました。看護ステーション内に隣接した場所に全く趣味のない息子に看護師さんがゲームの玩具を持つて来て相手をして下さった時、喜んでいたらしいのです。私は、施設の支援員さんが、余暇の過ごし方を教えて下さっていたことを思い出し、本当に有難く感謝致しました。また、施設からも何回も彼に面会に来て彼と時間を共に過ごして下さり、有り難く感謝しております。入院中は、行動にもいろいろ変遷がありましたが、少しは落着いて来たかな、指示も通り、あとを追わなくなりました。彼が一人で時間を過ごし、次の行事まで、自分の好きな音楽を聴いたり、ゲームをしたりして、人に頼らなくて時間を使つづけるようになつて貰いました。また、座つて待てる。これから彼の人生において、大切なことであり、この三ヶ月の入院が彼によい経験となつて思つております。施設の皆さんには、本当に有り難うございました。今後に於いても、よろしくお願ひ致します。

中川
英世

社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページをリニューアルしました！！

当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り組みなどを随時更新していますので是非ご覧ください。

スマートホンでは右のQRコードから読み取れます。

アドレス：<http://www.pomme-de-pin.or.jp/>



社会福祉法人ポム・ド・パン



メリーラ (年齢非公開)
2006年12月にウインドヒルに来ました。

編集後記

新年度を迎えて早2ヵ月が過ぎました。

新作業棟の完成や2名の利用者が仲間になり、ユニット編成も見直され心機一転新しいスタートを切りました。今年度も楽しい出来事がたくさん待っている予感がしています。



モモラ
2006年1月生まれ